

MOIS 1 期生(2 年生)の皆さん、こんにちは。

改めて、進級おめでとうございます。そして、3 月 2 日から 3 ヶ月に及ぶ臨時休校お疲れさまでした。特に 4 月 7 日以降の課題学習、そしてGW明けからは、誰も経験したことの無い Virtual MOIS にしっかり取り組んで、よく頑張りましたね。ようやく今日から、分散登校ではありますが、Face to face、顔を合わせての学校生活が始まります。ただ、日本はもちろん世界中が、まだ新型コロナウイルス感染拡大防止のさなかにあります。常に油断することなく、自分が感染しないよう、他人を感染させないよう、新しい生活様式に則って過していきましょう。

さて、本日 6 月 1 日は、大宮国際中等教育学校の開校記念日です。去年は、開校記念式典を執り行い、清水勇人さいたま市長や細田真由美教育長をはじめ、たくさんの来賓の方々をお招きして、本校の開校をお祝いしましたね。そんな本校にとって特別な日に今年度のスタートが切れるのも、なんだかとても感慨深いものです。そこで、開校記念日にちなんで、本校の目指す学校の姿についてお話をします。

埼玉県内で唯一の中等教育学校である本校では、途切れることの無い 6 年一貫した学習に取り組む中で、よりよい世界を築くことに貢献する地球人の育成を目指しています。そのため、学校生活のあらゆる機会を通して、未来の学力を備え国際的な視野を持つ生徒の育成を目指しています。Grit (やり抜く力)、Growth (成長し続ける力)、Global (世界に視野を広げる力) の 3 つの G を、バランスよく身に付け、「生涯にわたって自ら学び続ける力」や「自分の頭で考え抜き、新しい価値を生み出す力」など、国際的な視野に立って多様性を理解して研究し続ける「真の学力」を育てていきます。

誰も見たことの無い未来で、皆さんが数々の試練を乗り越えていくために、この 3 つの G を常に意識し、実践して、よりよい世界を築くことができる人間に成長して欲しいと願っています。未来の正解は一つではありません。何が正解なのかも、遠い未来から振り返らなければ分かりません。たくさんの答えを見つけ出し作り出して、その中から最も適切な答えを選び取っていく必要があります。そのためには、これまでの 1 年間よりさらに、互いに個性を尊重し、様々な考えを発表し、認め合い、高め合い、励まし合い、共に学びを深めていきましょう。

新型コロナウイルス感染拡大との世界的な闘いも、言うなれば、その学びの機会の一つです。世界中の様々な立場の人たちが、新型コロナウイルスに真剣に懸命に立ち向かっています。せめて私たちも、どんな取組がこの闘いにおいて有効だったのか、ゆくゆく見極めていきましょう。

有効な取組は、もちろん単にワクチンや治療薬の開発だけではありません。感染拡大当初から、まさに命懸けで感染者の治療に取り組んでいる医療従事者の方々が大勢います。感染拡大を防ぐため、やむを得ず国境を封鎖し、街を封鎖した諸国の首脳や政治家の決断があります。世界中で恐怖と不安と貧困に苦しみ、理性を失って暴力や略奪に走る人々がいる一方で、自分にできること、自分が役に立てることを探して実践している名も無き一般市民がたくさんいます。自分勝手な行動を自制し、隣人や同僚や友人との対面での交流を断ち、できる限り Staying Home、テレワークや Virtual MOIS によって仕事や学習に取り組んでいる皆さんがいます。

学校は少しずつ再開されて来ましたが、新型コロナウイルスとの闘いは、未だ終わりが見えません。これからも引き続き、自分に、自分たちにできる最善のことは何か考えて、実践しましょう。もし、自分自身が困った時や辛い時には、MOIS の仲間たちや先生方の存在を思い出してください。一人で抱え込まずに、どんなことでも相談してください。思いを声や文字にして、伝えてください。できないこと

があっても挫けず、失敗は成功に至るための経験なのだと理解してください。

学校生活や日常生活における「新しい生活様式」は、いつ終わるとも知れません。もうコロナ以前には戻れないだろうという人もいます。それが嫌だと思っても、自分の力でどうにかできるものでないならば、その中で何ができるか、何をすべきなのか考えて、失敗を恐れず、取り組んでいきましょう。

自分自身の成長の先にこそ、よりよい世界の未来があるのだと、しっかりと自覚しましょう。これまでとは異なる環境にあっても、皆さんがともに切磋琢磨しながら成長し、やがて世界にとってかけがえのない一人一人になっていくことを、先生方は心から願っています。

それが、本校の目指す学校の姿であり、本校が生まれた理由です。Happy Birthday, MOIS.